

12 有限会社ナッシュ

世界初！缶バッジ製造工程の全自動化による 国内量産化体制の構築

会社概要



- 社 名：有限会社ナッシュ
- 代表者名：代表取締役 松田 善浩
- 所 在 地：〒426-0075
藤枝市瀬戸新屋305番地の6
- 取 材 地：同上
- 設立年月：平成18年3月
- 業 種：金属製品製造業
- 資 本 金：3,000千円
- T E L：054-643-5757
- U R L：<https://nush.co.jp>



取組みの経緯



代表取締役の松田善浩氏

オリジナル缶バッジ 市場の拡大

近年、アニメ・ゲーム業界では、ライセンスキャラクターグッズの製品化ニーズが増加している。その中でもオリジナル缶バッジは、コレクターグッズとして定番商品であることから特に高い人気を誇っている。

缶バッジの市場は、2000年代後半から急成長しており、日本国内で流通しているオリジナル缶バッジは年間で約1億個といわれている。そのうち、国内で生産されている缶バッジは、約4,000万個であり、残りの約6,000万個は中国などの海外で生産されている。

しかし、海外で製造されている缶バッジは、粗悪品も多く、品質向上に向けた缶バッジの国内生産ニーズが年々高まっている。

また、海外で製造されている缶バッジは納期が守られないケースが多く、国内において、約定通りの納品を可能とする安定した缶バッジ製造体制の実現と、拡大する顧客ニーズに対応するためにも、量産化体制の構築が求められている状況である。

具体的な 事業内容

缶バッジ製造工程の全自動化による量産体制を構築することで、生産量が増加し、併せて不良率が削減するなど、安定した品質を確保することができた。アニメ・ゲーム業界のキャラクターグッズ市場の高まりを受け、オリジナル缶バッジ製品の需要拡大に対応していく。

取組みの内容



缶バッジの製造現場

缶バッジ製造工程の 全自動化

同社はこれまで、製造工程におけるラミネート加工（紙にデザイン画を貼る作業）及びデザイン画の型抜き工程は、作業員による手作業で行っていた。このため、大量生産の受注があった場合は作業員の確保が課題となっており、この課題解決のため本事業において当該作業工程を全自動化したものである。

導入した機械は、高精度なプレス加工が可能で製缶プレス工程で使用する「缶バッジ半自動機」、高精度かつ全自動のフィルムラミネーターでラミネート加工工程で使用する「全自動PPラミネーター」、センサーによる高精度なカットを自動で行い、型抜き工程で使用する「ロータリーダイカッター」の3種類である。

これら機械の導入により、製造量が増加しても品質を確保できる生産体制を確立し、これまで15～20%であった不良率が5%に削減できた。また、月間で約30万個の缶バッジ製造が可能となり、受注量が増加しても安定して納品する体制を整備し、製造コストの削減も実現することができた。

結 果



製造された缶バッジ

日本国内での缶バッジ 量産体制の構築とその先へ

ここ数年における缶バッジ市場は急速に拡大しており、需要の拡大に伴うオリジナル缶バッジ製造拠点は、海外から日本国内へシフトしている。缶バッジは様々な用途に活用されており、多様化する製品ニーズの中で、高品質な缶バッジ製品の製造並びに量産化が求められている。

本事業により、同社は独自の高品質オリジナル缶バッジの生産能力の拡大を図ることでき、海外にも人気のある、日本国内のアニメ、マンガ、ゲーム業界等と連携して、更なる受注の増加を図っていきたいと考えている。

また同社では、受注の増加に伴い、将来的には雇用の拡大を目指している。本事業により製造工程の自動化が実現し、製造現場における生産性や安全性が向上したことにより、作業が軽作業になることから、女性や高齢者、障害者など多様な人材の雇用を検討している。さらには、同社を取り巻くサプライチェーンにおいて必要不可欠な梱包資材や物流に携わる地域関連企業とのパートナーシップの構築を図りたいと考えている。